

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北相木村林業活動拠点整備事業
事業主体 (連絡先)	北相木村 (北相木村 経済建設課 0267-77-2111)
事業区分	(6) ウ 森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ハード
総事業費	4,946,400 円 (うち支援金: 3,000,000 円)

事業内容

◎林業事業の活動拠点整備 (木材加工場整備)

木材の有効利用方法を検討するための試作品や製品の製作を行える木材加工場の整備を行いました。H28年度に地方創生加速化交付金で木工機器は整備しましたが、活動が進む中で村内の木工所(井出木工)では活動場所として十分なスペースが確保できなくなったため、木材加工場の整備が必要となりました。



【木材加工場】

【目標・ねらい】

- ① 林業や木工による雇用の創出及び地域の活性化【5年後に5名増】
- ② カラマツに対するイメージの変化活動

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 村内ではカラマツ林の更新が始まり、カラマツ利用が注目され始めています。村内業者(NPO 法人村産材を使う会)にもカラマツ家具の注文が増えてきています。今回の事業で木材加工場の整備が出来たことによりカラマツの利用用途の拡大に繋がると思います。今後は、林業の活動拠点として事業量を増やすと共に雇用の創出に繋げて行きます。
- ② 今年度は都会(東京・神奈川)の林業・木工の学生を対象に「林業体験インターンシップ」を開催しました。都会にカラマツを知って頂くPRと北相木村への移住増加への目的で実施し、8名学生(定員10名)に参加して頂きました。

※自己評価【 B 】

【理由】

・活動拠点を整備できたことで今後のカラマツを利用した事業展開を計画でき、それが雇用の創出に繋がる可能性が期待できます。

今後の取り組み

- ・カラマツを利用した事業を拡大して行きます。村内業者(NPO 法人村産材を使う会)にはカラマツ家具の都会への販売ルートの開拓をして頂く計画です。また、林業の活動拠点としての利用方法を村・林業事業体・関係団体等と模索して行きます。
- ・村民や都会へ向けてのカラマツPRとして林業・木工イベント等を開催して行きます。